

さきたま

埼玉県鍼灸師会は厚生労働大臣免許保有者でつくる県内唯一の「はり師」及び「きゅう師」専門の公益社団法人です。

第203号

令和4年9月1日
発行

公益社団法人 埼玉県鍼灸師会
会長 河原保裕

事務所

〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町2-3-1
第2大矢部ビル 2F東

TEL 048-645-0416

HPアドレス <http://saitama.harikyuu.or.jp>

事務所メールアドレス saishinkai@gold.ocn.ne.jp

〈広報委員長〉 大谷尚子

〈編集委員長〉 阿部 琴美

行事予定表

9月
15日(木) オンラインサロンー彩ー
25日(日) 療養費等個別指導会

10月
16日(日) 第1回学術講習会
20日(木) オンラインサロンー彩ー
23日(日) 療養費等個別指導会

埼玉県鍼灸師会の活動

オンラインサロンー彩ーの開催

第12回臨床研究会が6月16日(木)に行われ、大谷鍼灸院院長・埼玉県鍼灸師会広報委員長 大谷尚子先生に「捻るお灸」のテーマで捻るお灸の特徴や効果の高い症例等についてお話いただきました。

第13回臨床研究会が7月21日(木)に行われ、Risa鍼灸院院長 長崎絵美先生に「性のお悩み」のテーマで、ED・性行痛等の性に関する愁訴に対する患者様対応や治療法などお話をさせていただきました。



大谷尚子先生



長崎絵美先生

健康まつり

日高市「健幸まつり」が6月12日(日)に「ひだかアリーナ」で開催され、狭山入間飯能地区長の森孝史先生はじめ浅見誠先生・松田梢恵先生・所沢地区の片居木茂行先生他1名が参加し、92名の方に鍼灸体験治療を受けていただきました。



日高市「健幸まつり」

オンラインサロンー彩ーのご案内

鍼灸の情報交換や技術・知識の研鑽を目的とした『オンラインサロンー彩ー』は研修会・講習会・臨床研究会を開催しております。臨床研究会の参加方法はzoomによるリアルタイムの参加とFacebook上におけるアーカイブでの受講が可能です。リアルタイムでご参加いただくと講師の先生に直接質問することができます。

さらに、東洋療法研修試験財団生涯研修制度2ポイントが取得できます。

オンラインサロンー彩ーの予定

臨床研究会

9月15日(木)午後9時 「HP/SEO/SEO」

カリスタ株式会社代表取締役

前田真也先生

10月20日(木)午後9時 「何でも聞ける保険治療の話」

村上海り灸院院長

埼玉県鍼灸師会保健委員長 村上悟先生

ゲスト 日本鍼灸師会健保委員 平野健一先生

毎月の利用料金 埼玉県鍼灸師会会員及び育成学生 無料
一般学生 500円、一般鍼灸師 1,500円
埼玉りそな銀行 大宮支店 普通 6256290
公社埼玉県鍼灸師会
にお振込みください。

参加方法 QRコードからご登録ください。

ご質問などがございましたら
saishinkaihari9@gmail.comに
ご連絡ください。



(公社)埼玉県鍼灸師会 令和4年度第1回学術講習会のご案内

(公社)神奈川県鍼灸師会 主催(令和4年度 第2回学術講習会)
(公社)日本鍼灸師会 関東信越ブロック 共催

令和4年度第1回学術講習会は神奈川県鍼灸師会主催の学術講習会に共催する形で行います。日鍼会会員で埼玉県鍼灸師会会員の先生方、埼玉県鍼灸師会育成学生の方は無料で受講できます。埼玉県鍼灸師会会員外の方は神奈川県鍼灸師会にお申し込みください。

zoomミーティングによるオンライン開催となります。

テーマ:《鍼灸におけるストレスマネジメントの貢献》
開催方法:WEB会場(使用ツール ZOOMミーティング)
日時:令和4年10月16日(日)10:00~16:15
(WEB上の受付9:30から)

演題:第1講座(基礎講座):10:00~12:00
『就業者の心身の疾病構造と医療での貢献』
講師:桜澤博文先生
(産業医・医学博士・日本産業衛生学認定専門医・同指導医)
第2講座(臨床講座):13:00~14:30
『就業者のストレスマネジメントにおける心理士の貢献』
講師:千田恵吾先生
(リスタコンディショニングルーム・鍼灸師・公認心理士)
第3講座(臨床講座):14:45~16:15
『鍼灸における就業者へのストレスマネジメントの実際』
講師:福田文彦先生
(明治東洋医学専門学校 鍼灸学科長)

取得単位:(公財)東洋療法研修試験財団生涯研修講座(各2単位計6単位)

(公社)全日本鍼灸学会 C講座認定

※受講時ビデオオン・受講後の出席確認アンケートをもって単位認定致します。

※単位認定は講習前後15分以上の遅刻・退室により付与致しかねます。また受講状況により付与できない場合がございますのでご了承ください。

会費:埼鍼会会員・育成学生 無料

会員外 一般 7,000円、

一般学生・日鍼会他都道府県師会会員 3,500円

正会員の治療院スタッフの方・全日本鍼灸学会会員、5,000円

運営から種別の確認があった場合、速やかに確認できる様にご準備下さい。

申込先:埼鍼会会員及び育成学生は埼鍼会専用QRコードにアクセスしてお申し込みください。

埼玉県鍼灸師会会員外の方は神奈川県鍼灸師会(会員外QRコード)からお申し込みください。

埼鍼会会員・
育成学生QRコード



会員外QRコード



《webセミナー受講上の諸注意》がございます。埼玉県鍼灸師会HPでご確認ください。

旬の食べ物を食べて元気になるう!

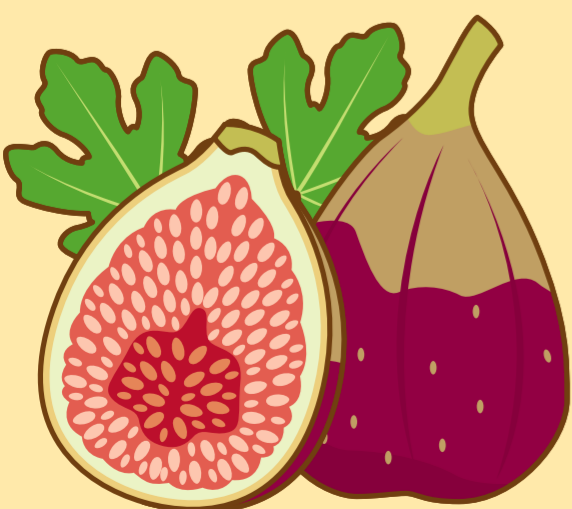
今回の旬の食べ物は「無花果(イチジク)」です。

イチジクの旬は年2回。6月~8月が旬の夏果専用種は大きく、8月~11月が旬の秋果専用種は甘みが多いです。そしてイチジクの食べている部分は厳密には果実ではなく、花にあたる部分です。イチジクは隠頭花序(いんとうかじょ)と呼ばれる花を付ける木で、果実のように見える部分は、花軸が肥大化したもので、切った時に粒粒のように見える花があるのがわかります。これが漢字で無花果と書く由来です。

イチジクは女性にとってもいいと言われる栄養素として、水溶性食物繊維のペクチンがあります。ペクチンは善玉菌のエサとなり腸の活動を活性化させ、便秘の予防に効果があります。しかしペクチンは食べ過ぎると下痢症状をきたすことがあるので注意が必要です。またカリウムも多く、ナトリウム(塩分)を体内から体外に排出し体液のpH値を整えてバランスを保つため、体がむくむのを予防する効果も期待できます。

そして次に着目すべきは植物性エストロゲン。大豆イソフラボンのように卵巣ホルモンに近い働きをする植物性の物質で、不足すると更年期障害やPMS(月経前症候群)など女性特有の症状がでます。また骨の形成を活性化にする働きをもつため、骨粗鬆症の予防にもなります。

イチジクは栄養価が高く、特に女性にはうれしい効果がいっぱいあります。あまり食べたことがない方はぜひ積極的に取り入れてください。また、生でしか食べたことのない方はドライフルーツやコンポートやジャム、この機会にぜひいろんな食べ方にも挑戦してみてください。



協賛各社
(順不同)

医道の日本社・ホシノ医療器株式会社・ヨシダ商事・アフラック募集代理店 株式会社むらた・セイリン株式会社・昭和エンタープライズ・ソーシンメディック
サンケイワーク